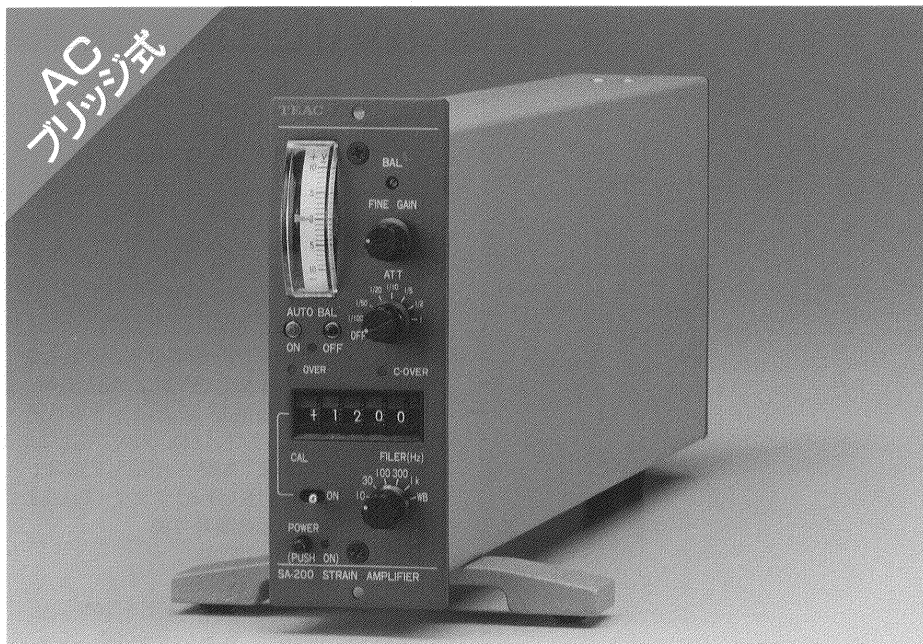


SA-200 ACブリッジ式動ひずみ測定器

高感度・高安定性で
動的現象の測定を実現する、
ACブリッジ式動ひずみ測定器。

■仕様

感 度	入力:100×10 ⁻⁶ ひずみ ゲージ率:2.00、B、V2Vにて 電圧出力:2V(2KΩ負荷)以上 電流出力:30mA(30Ω負荷)以上
感度調整器	ATT:0.1/100、1/50、1/20、1/10、1/5、1/2、1 精度:各段とも±0.3%FS GAIN:各レンジ間1~1/2.5まで 連続可変(出力2のみ独立に1~1/10まで連続可変)
適用ゲージ抵抗	60~1000Ω
ゲージ率	2.00固定
印加電圧	電圧:AC0.5、2V(rms)±10%背面切換 周波数:7.5kHz ±5% 同期:可能台数50台まで
平衡調整範囲	抵抗分:使用ゲージ抵抗の±1% 容量分:約2000pF
平衡調整方法	抵抗分:電子式自動バランス 精度:±1×10 ⁻⁶ ひずみ 時間:1秒 容量分:電子式自動バランス 自動追尾方式
ドリフト	±0.1×10 ⁻⁶ ひずみ/°C
利得ドリフト	±0.025%FS/°C
雑音	100×10 ⁻⁶ ひずみ入力 2V出力にて46dBp-p 1V出力にて52dBp-p
非直線性	±0.2%FS
出力	出力1:±10V(2KΩ負荷)以上 ±50mA(30Ω負荷)以上 出力2:±10V(2KΩ負荷)以上 ±5mA(2KΩ負荷)以上
周波数特性	DC~3kHz(+0.5、-1dB以内)
ローパスフィルタ	遮断周波数:10、30、100、300Hz、 1kHzおよびWB ±15% 減衰特性:-12dB/oct
アラーム機能	OVER(Rオーバー):ブリッジの 抵抗バランスがとれないとき点灯 C-OVER(容量オーバー):容量 2000pF以上の容量分がある場合 に点灯
内部校正器	±1~9999×10 ⁻⁶ ひずみ 設定方式:4桁デジタルスイッチ 誤差:±(0.5%FS+0.5×10 ⁻⁶ ひずみ)
周囲温度・湿度	-10~50°C、80%RH以下
電 源	AC100V±10% 50/60Hz 約10VA
外形寸法	49.5W×138H×310D(mm) (突起部含まず)
重 量	約1.9kg



ひずみゲージ、およびひずみゲージ式各種トランスデューサを入力とする汎用ACブリッジ方式の動ひずみ測定器です。

ACブリッジ方式(搬送波方式)の特性である、高感度・高安定性を活かし、動的現象の測定に対する要求をすべて満たしました。

また、1.9kgの軽量設計ですから、ポータブル性を活かし、室内でも屋外でも、使いやすさが一段と向上します。

●高いコスト・パフォーマンス

動ひずみ測定に必要な、ATT、校正ひずみ、ブリッジ電源、ローパスフィルタ等をもれなく装備。高いコスト・パフォーマンスを実現した、測定器です。

●ACブリッジ印加電源を内蔵

ひずみゲージブリッジ回路が必要とする高精度なブリッジ印加電源を内蔵。AC0.5V、2Vの2段階のブリッジ電圧を印加できます。

●すぐれた温度特性

温度変化による零点変動は±0.1×10⁻⁶ひずみ/°C、感度変動は±0.025%FS/°C。変動がきわめて小さくなっていますので、きびしい条件下でも高い安定性が得られ、常に信頼性の高い計測が可能です。

●使いやすさを考慮した、校正ひずみを装備

校正ひずみ設定器は、±1~9999×10⁻⁶ひずみのデジタル校正方式を採用しました。設定は、4桁のデジタルスイッチにより、ワンタッチで、各種ト

ランスデューサ等の定格容量に相当する校正値の設定が可能。従来の測定器のように、めんどろな換算はいっさい不要です。

●容量バランスに、自動追尾方式の電子式オートバランスを採用

面倒な容量バランス分の打消しを自動化できる、自動追尾方式の電子式オートバランス方式を採用しました。ACブリッジ方式ですが、初期容量バランスの調整はもちろん、計測中にケーブルの変形などから発生する容量分変動を常に補正しますので、精度の良い計測ができます。

●電子式オートバランスを採用

抵抗分の平衡調整方式には、ワンタッチの電子式オートバランス方式を採用。プッシュスイッチを押すだけで、きわめて簡単にバランスを調整できます。

●幅広く応用できる、デュアル出力

出力は、OUTPUT-1とOUTPUT-2から同時に取り出せる、デュアル出力方式を採用しました。入力された現象波形をモニタしながら、同時にデータレコーダなどにデータを記録したり、テクニカルコンピュータなどでデータ処理をすることができます。

●外部からのバランス制御可能

外部から、接点信号もしくはTTLオープンコレクタ信号にて、CAL(+、-)およびオートバランスの制御が可能。多チャンネル計測時に各チャンネルの零点を揃えたり、任意点を零点として、その点からの変化量を測定するとき有効です。

